

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

会長挨拶

後援会会長 野田 哲三



花の便りも聞かれる季節となりました。後援会の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

また、ご卒業を迎えられる卒業生の皆様、そしてお子様方のご成長を温かく見守り支えられてこられた保護者の皆様に心からお祝い申し上げます。

この春卒業されます皆様は東京聖栄大学の学生として研鑽を積み重ねてこの日を迎えられること。この土台を糧として、これ

◆学生代表と教職員が意見交換会を実施!!◆

平成三十年十二月十八日(火) 図書館五階において「学生との意見交換会」が実施されました。

田所学長はじめとする教職員と学生代表が、学修環境や学生支援等に関する学生の意見や要望を的確に把握し、大学運営に生かす取組みの一環として行われました。当日は、学生代表の学友会役員十六名、学長はじめとする教職員十四名が参加し、今年度の学友会活動の報告や学



全体の様子



田所学長挨拶



学友会会長挨拶



保護者会 全体会

大学生活における学修支援環境、就職支援、施設・設備等の学生の意見・要望や教職員の支援状況等について活発な意見交換が行われました。

保護者会(後援会・大学共催)が平成三十年九月二十九日(土)、六十七名の保護者参加のもと開催されました。

先生や職員の方々、保護者も交えた懇親会では、息子から聞く先生方の人柄を身近に感じる事が出来ました。色々な方と接する事が出来、保護者会に参加してとても良かったと思います。今回、参加できなかった保護者の皆様も是非、次回は足を運んでみては如何でしょうか。

から飛び込む社会の荒波に立ち向かって貰いたいのです。社会そのものがいろいろな問題を抱え、大きく変わろうとしている時代です。皆さんはこれまでと同様に地道な努力を重ね知識と経験を身に着けどんな時代でも生きていける実力があれば配慮のできる人を目指してください。

最後にありますが、東京聖栄大学の教職員ならびに関係者の皆様には熱心なご指導を深く感謝申し上げます。これからも、東京聖栄大学と卒業生の皆様、後援会の皆様方の益々のご発展を心からご祈念し挨拶とさせていただきます。

平成三十年度 保護者会報告について

保護者会に参加して

1 F A 尾籠 宏美

早いもので、入学して半年以上が経ちました。食品や調理に興味を持った息子は、調理師も目指せる東京聖栄大学に進学し日々の学習に励んでいるようです。学校での様子を知る良い機会と思い、保護者会に参加させて頂きました。全体会では、管理栄養士の合格率、就職状況を聞き、この時期には多数の学生が内定を頂いている事に安心いたしました。各学年での学習の様子を知り、今後の参考になりました。その後は各クラスに分かれての懇談会が開催され、普段お目に掛かることのない他の保護者の方々と情報交換することができました。また、個別に面談もして頂き、色々とお話できたことを大変嬉しく思います。

食品学科

食品学科の取り組みについて

食品学科長 荒木 裕子



本学食品学科の六十五名がこの三月に食の専門家（食品技術者）として社会に巣立っています。保護者の皆様には心からお祝い申し上げますとともに、社会に巣立っていく卒業生にはエールを送りたいと思います。

さて、食品学科の学びを一部ご紹介させていただきます。聖栄葛飾祭では、各研究室のゼミ生が食品に関するテーマで研究を行い、その成果を発表いたしました。また、二年次開講のキャリアリサーチでは、本年度からゲストスピーカーによる講義がスタートし、食品業界で活躍されている方々や卒業生に講義をしていただき、現場での苦労や成功した時の達成感等、それぞれの職場でのお話をうかがう貴重な授業となりました。また、三年生は夏期休暇中にインター

ンシップを体験することで、就業力を高め、さらに残りの学生生活ですべきことも明確にできたのではと思います。



聖栄葛飾祭 ゼミ紹介

二月に卒業研究・卒業制作発表会が開催され、四年間の学びの集大成として卒業論文を完成させました。この四年間の大学生活においてどのくらい成長できたかを知ることができる絶好の機会となりました。

食品学科ではより充実した学びを学生に提供できるように、時代のニーズに応えられる教育の実践を目指しています。食品学科の教育の質をこれからも高め、学生一人ひとりを全力で支援してまいります。

管理栄養学科

新元号に求められる

管理栄養学科長 鈴木 三枝



平成三十年の歩みが終わりを迎え、五月から新しい元号が始まります。管理栄養士・栄養士にとつての平成は、栄養改善法が廃止改正され健康増進法が施行され、管理栄養士の役割も明確になり、難易度の高い業務が



卒業研究発表会

要求されました。今後も時代に対応できる管理栄養士の養成が求められます。二〇一九年度から管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）が改定され新たに採用されます。出題数は、今までと変わらず二〇〇題ですが、各分野の出題数は一部配分が変更されます。特に、分野横断的な設問である応用力分野は、二〇題から三〇題に変更されることとなります。具体的には、栄養ケア・マネジメントを基本とした栄養管理を実践する上で必要な知識・理論、思考・判断力をそなえているかについて評価が可能となるよう、最も適切なものを問うことが多い科目を中心に、一〇問を応用力分野に移行されました。管理栄養士国家試験に出題される内容は、管理栄養士養成課程で修得される教育の全てではありません。大学に於いて履修する全ての教科は、管理栄養士として活躍する将来に備え、どのような場面に於いても臨機応変に対応できる力を養うためのものです。新しい元号を迎えるにあたり教員間のチームワークを強め、即戦力となる学生教育に専念していききたいと思います。

管理栄養士国家試験 出題数の配分

分野別	現行	修正案
社会・環境と健康	17問	16問
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	27問	26問
食べ物と健康	25問	25問
基礎栄養学	14問	14問
応用栄養学	16問	16問
栄養教育論	15問	13問
臨床栄養学	28問	26問
公衆栄養学	18問	16問
給食経営管理論	20問	18問
応用力試験	20問	30問
計	200問	200問

H30.11.27 管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）改定検討会



国家試験に向けた学内模試

学友会活動報告

● 地元地域の協力活動

● 地元地域の協力活動
本学は、開学から地元地域活性化への協力活動を継続的に
行っております。ここではその
活動の一部をご紹介します。

毎年開催されている「わんぱく相撲葛飾区大会」総合司会及び附属調理師専門学校模擬店の協力（写真1）や新小岩第六自治会の夏祭りの出展や四年に一度行われる「新小岩天祖神社例大祭」に参加し、神輿巡行を地元自治会と共に「聖栄ピアヘルピングワークス」の学生と学友会役員が担ぎ手として協力いたしました。（写真2）また、十一月に、新小岩の町全体で行われる「新小岩文化祭」では、本学の「食品加工研究部」が出展し、葛飾の野菜である「小松菜」を使用したマドレーヌを約四〇〇食販売いたしました。（写真3）その他に多数の地域イベントに学友会役員や各部・同好会の学生達を中心に活動しております。

これらの活動の幅は年々増加しており、学生達にとって、知識や技術を得るだけではない社会貢献活動の場となっております。



（写真1）わんぱく相撲葛飾区大会



（写真2）新小岩天祖神社例大祭 お神輿巡業



（写真3）新小岩文化祭

● 『聖栄葛飾祭』を実施

平成三十年十一月三日（土）、四日（日）に『聖栄葛飾祭』が開催されました。「食彩く食で広がる無限の輪」と題し、東京聖栄大学の一年に一度の祭を学生と来場者が共に楽しむ事ができる、多数の企画を実施しました。

葛飾区をはじめ、農林水産省関東農政局や多数企業による広告・物品の協賛を頂き、警察・消防・自衛隊等の公的団体からも出展を頂き、地域に密着した『聖栄葛飾祭』として大盛況に終えることができました。

毎年『聖栄葛飾祭』での収益金の一部を、東日本大震災等の義援金やチャリティー金として葛飾区社会福祉協議会や公益財団法人日本ユニセフ協会、あしなが育英会へ寄付いたしました。



葛飾区長へチャリティー金寄付



聖栄葛飾祭

会に寄付しております。今年度は葛飾区役所を訪問し、青木克徳区長に学生がチャリティー金等を寄付いたしました。

● 普通救命講習会を実施



普通救命講習会

平成三十年十二月十二日（水）、東京消防庁 本田消防署のご協力の下、普通救命講習会が実施されました。

普通救命講習は、心肺蘇生やAED使用方法、止血法等の知識と技術を東京消防庁の指導の基に学ぶ講習です。本講習会を本学では平成二十年度から継続的に実施しております。今年度は、三十九名の学生が受講して過去十年間で延べ四六三名が修了しております。今後も就職活動や緊急時に適格な応急処置の際に役に立てられるように継続して実施したいと考えております。

最後に、学友会活動を通して学生達がこれからの学生生活において自信となり、大学の発展に大きく繋がる事と思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いたします。

学生支援センター

（学生支援・就職支援）

● 学内企業 業界説明会を実施

三年次生の就職活動が解禁となる三月を間近に控えた二月に学内業界説明会を開催しました。これは学生支援センターが開催する就職支援事業では最大のイベントで、例年参加企業様から多数の内定を頂いています。

今回は二月十四日・十五日に管理栄養士職採用企業から計二十社、十八日・十九日には食品関係企業から計二十社の延べ四十社の人事担当者が来校され、業界や各企業についての説明などが行われました。参加学生は多くのブースを訪れ、活発に質問をするなど様々な情報を収集し、有意義な学内企業・業界説明会となりました。



学内企業説明会

後援会副会長挨拶

後援会副会長 津田 眞利



春なお浅く、朝夕はまだ冷え込みが厳しい今日この頃ですが、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より後援会活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、東京聖栄大学を卒業される管理栄養学科、食品学科の皆様、ご卒業おめでとうございます。中国にこんな故事があります。竹は種を蒔いてから四年間、小さな芽がちよっと出るだけで、そのほか何一つ成長が見えない。実は、その四年間の成長はすべて土の中にあるのです。土の中に深く深く長く長く、その根を張っていたのです。そして五年目にその小さな芽は、一気に二十五メートルまで伸びていくそうです。皆さんは、この中国の竹のように本学において成長するために、忍耐強く、前を向いて努力し続けてください。さあこれからは社会に向けてより高くその幹を伸ばし、世界へ向けて大きな枝葉をより広げていってください。私

はいつも一生懸命な中国の竹のような皆さんを応援しています。

進路状況

平成三十年度卒業生の就職内定率は、二月十五日現在で九七・三％(昨年同日九六・一％)であり、昨年度よりプラス二・二ポイントという状況です。

学科別では、管理栄養学科は管理栄養士職を中心に九六・五％、食品学科は食品企業の研究・技術・製造職や調理職を中心に九八・四％となりました。

学生支援センターでは、就職未内定者への就職支援を継続してまいります。未内定者は諦めずに就職活動を継続してください。

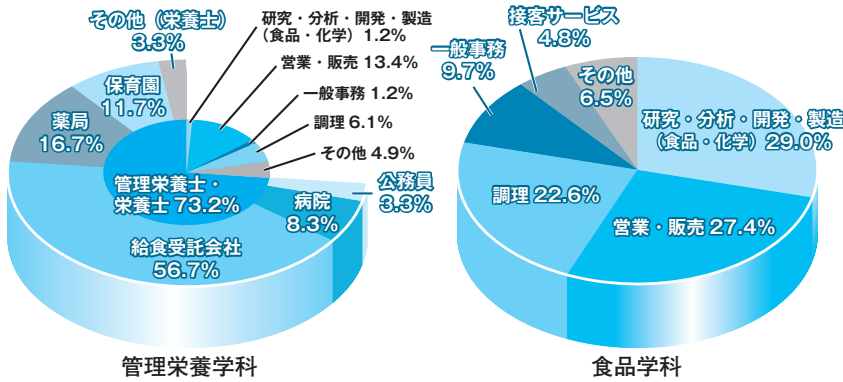
現三年次生の就職活動は、昨年度同様に三月に企業の広報活動が開始となり、採用選考活動は六月に始まります。ルール自体は変わらない中で、企業側の実際の活動時期は多くの企業で前倒しが予想されます。また、採用広報解禁前の取り組みとしてインターンシップ実施企業は年々増加傾向にあります。

三年次生の就職活動はこれから本格化してまいります。学生支援センターでは学生の就職ニーズと就職先のマッチングを計る為、学生の希望進路実現に向けて関係教職員と連携し就職支援を行います。

関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

2019年度 学年暦

Table of the 2019 academic calendar with dates and events such as '学年開始', '入学式', '前期授業開始', etc.



平成三十年度卒業予定者 内定先職種別グラフ (二月十五日現在)

4年次生の主な就職内定先

Table listing main job placement destinations for 4th-year students, categorized by department (Management Nutrition and Food Science) and job type (Research, Business, etc.).